

日本国憲法前文

日本国民は、①恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。

白井明大さんによる詩訳

私は
ずっと平和がいい。
この星で生きていくための
人間と人間の
つながりの土台を支える
とてもとても大事な理想を
深く心に持っておくよ。
平和を愛してる
いろんな国の人々の心の中にある
ウソやごまかしのない姿勢と
お互いを思いやる理性や知性を信じることで
私たちは安心して暮らそうと
② そうやって生きていこうと決めた。

左の記事は、詩人の白井明大さんが、憲法を詩に訳した本「日本の憲法 最初の話」から抜粋した、憲法前文の詩訳です。これを読んで、後の問いに答えましょう。

- ①傍線部①「恒久」は詩の中ではどう訳されていますか。詩の中から抜き出しましょう。
- ②傍線部②「そうやって」とは、どうやってですか。次の説明文の空欄に憲法の語句を2字ずつ入れて完成させましょう。

平和を愛するいろんな国の人々の ア と イ を ウ することで生きていこうと決めた。

①

② ア イ

ウ